

愛知登文会総会報告

第13回

令和5年6月22日発行

令和5年度総会

令和5年5月23日（火）開催

第13回目の総会を岡崎市にて開催しました。総会前には会場となった旧本宿村役場の見学会を行うとともに、4年ぶりの懇親会を富田家住宅木南舎にて実施、総会にはZoomでの参加者もあり、大勢の参加で交流を深めることができました。ご参加いただきありがとうございました。

総会

午後2時半～3時半

令和5年度総会は、正会員総数68名のうち51名出席（うちZOOM参加2名、委任状33名）のもと、後藤理事の開会の辞で始まりました。ご来賓には、愛知県文化財室室長 辻光代様、同主査 浅岡宏司様、大阪登文会 青山修司様、三重県の登文会「さんとうぶん」 竹田憲治様、あいちヘリテージ協議会代表世話人 下會所豊様、同副代表世話人 山本栄一郎様、なごや歴史まちづくりの会 松井明子様、当会相談役 瀬口哲夫様にご臨席賜りました。開催にあたり、岡崎市教育委員会社会教育課の皆様にご協力いただきました。



富田家住宅木南舎・土蔵（登録文化財）の前にて記念撮影

会長挨拶

会長 小栗宏次

本日は総会へのご参加ありがとうございます。登録文化財の制度は27年前にでき、平成17年に所有者の会が大阪で誕生、愛知は全国4番目の会として設立されました。現在、9つの所有者の会が活動しており、さらに、滋賀、千葉、新潟において所有者の会がうぶ声をあげようとしています。愛知県の登録文化財は551件に達しており、会の存在が重要となっています。登録件数に対して会員数は166名とまだまだですが、この数は全国の登文会で最も多く、皆さまのご協力のおかげで全国でも有数の活動を行うことができます。ここ数年はコロナによって活動が制限されていましたが、今年ようやく念願であった富田家住宅で懇親会が実施でき、復元された旧本宿村役場で総会を開催することができたことを嬉しく思います。開催にご尽力いただいた富田様、岡崎市の皆さまに感謝申し上げます。



旧本宿村役場（昨年復原）



総会の様子

- 1 開会の辞／2 会長挨拶／3 来賓祝辞／4 議長指名
- 5 議題
 - 第1号議案 令和4年度事業報告
 - 第2号議案 令和4年度決算報告及び会計監査報告
 - 第3号議案 規約の一部改正について
 - 第4号議案 令和5年度役員について
 - 第5号議案 令和5年度事業計画について
 - 第6号議案 令和5年度予算について
- 6 閉会の辞／7 写真撮影

総会に先立ち、7回目となる表彰を行いました。今回は、文化財の保存活用に積極的に取り組むとともに、当会の活動にご協力いただき、今回の懇親会会場の所有者である富田氏に表彰状をお贈りするとともに、あいたて博の開催や冊子「あいちのたてもの」制作に多大なご協力をいただいている建築史家の村瀬氏に感謝状を贈りました。



富田家住宅 富田裕様



建築史家 村瀬良太様

富田家住宅紹介・見学会

午後3時半～

富田氏から富田家住宅(本宿旧代官屋敷)の歴史や価値、再生・利活用の取り組みについてご紹介いただくとともに、木南舎と土蔵を案内いただきました。



富田家住宅(本宿旧代官屋敷)の紹介

懇親会

午後5時～7時

木南舎はイタリアンレストラン「ユギーノ・ユーゴ」として再生され、人気店となっています。ここで開店するにいった経緯にもドラマがありました。

懇親会参加者の中にはここで食事したかったという人も多かったようです。普段とは違う全員が1つになるようなテーブル配置で会員どうしの親睦を深めることができました。



小川相談役の乾杯でスタート

役員体制

※印は今年度新任した役員

理事長(会長)	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
副会長	天野 啓介	(大野宿鳳来館本館ほか)
"	寛 清澄※	(寛家住宅主屋)
"	三井 蓮孝※	(蓮教寺本堂ほか)
事務局長	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
"	八木 則行	(岡崎信用金庫資料館)
"	後藤 泰男	(窯のある広場・資料館ほか)
"	古川 為之	(為三郎記念館ほか)
"	大辻 織絵	(旧石原家住宅)
"	尾関 立志※	(尾関家住宅主屋ほか)
"	酒井外美江※	(川田家住宅主屋)
"	川原田 淳※	(川原田家住宅主屋ほか)
監事	佐滝 剛弘	(京都光華女子大学教授)
"	佐藤 敏博	(佐藤会計事務所)
名誉会長	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
"	杉野 丞	(愛知工業大学教授)
"	井澤 知旦	(名古屋学院大学名誉教授)
"	溝口 正人	(名古屋市立大学大学院教授)
"	西澤 泰彦	(名古屋大学大学院教授)
"	是澤 紀子	(日本女子大学准教授)
"	小川 芳範	(星城大学事務職員)
"	牧 謙治	(愛知県立木曽川高等学校校長)

昨年度は文化庁補助金の総括評価期間にあたり、補助金のない中での活動となりましたが、令和5年度より新たな実施計画に基づく補助事業が採択され、新たな取組もはじめます。皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

愛知県国登録有形文化財公開活用事業(文化芸術振興費補助金)

- ① 登録文化財保存活用シンポジウム(平成29年度より): 保存活用にあたっての様々な課題を乗り越えるための専門的あるいは事例的な情報を提供し、意見交換を行うシンポジウムを3回開催する。
- ② オンライン登録文化財魅力体験シンポジウム(新規事業): 登録有形文化財の魅力を紹介する動画を制作するとともに、その動画を紹介するオンラインシンポジウムを2回開催する。
- ③ 新規登録有形文化財訪問(新規事業): 近年登録された登録有形文化財を愛知登文会会員(所有者)が訪問し、所有者や専門家の方にご案内いただくとともに、登録文化財の維持管理や活用についての意見交換を実施
- ④ ウィキペディア愛知登文会(新規事業): ウィキペディア編集についての勉強会・体験会を開催し、その成果を踏まえて3回のWSにより愛知県内の登録有形文化財のウィキペディアを作成する。
- ⑤ 文化財魅力発信サポーター育成(新規事業): 文化財に関心を持つ市民を対象に建物の見方や情報発信の方法に関する座学とワークショップの連続講座を開催するとともに、その実践としてあいたて博で情報発信を行ってもらう。
- ⑥ 登録有形文化財魅力紹介冊子(平成30年度より): 地域の文化財を網羅的に紹介するコンテンツの1つとして、テーマ別に愛知県内の登録有形文化財を紹介する小冊子「まちのシンボル編」を作成する。
- ⑦ あいたてカード(新規事業): 地域の文化財を網羅的に紹介するコンテンツの1つとして、登録有形文化財の公開時などに利用できる名刺大のあいたてカードを作成する。

あいちのたてもの博覧会事業(文化芸術振興費補助金)

平成26～令和3年度に実施した特別公開事業の対象を拡大し、NPO法人あいちヘリテージ協議会、NPO法人なごや歴まちの会と連携し、指定文化財や未指定文化財も含めた建物公開事業を実施する。10回目の開催となる。

愛知登文会独自事業

愛知登文会の情報発信: ホームページ・フェイスブック・Instagram・公式LINEによる情報発信を行うとともに、総会報告及び愛知登文会ニュース(年3回)を制作・発行する。

保存活用事例視察: 県内外の登録有形文化財や先進的取り組み等の視察を企画・実施する。

表彰の実施: 総会にて文化財の優良な活用を行った所有者を表彰した。第8回の表彰に向け、表彰者の選定を行う。

全国登文会: 全国登文会を通じて各地の登文会との連携を深め、登録文化財の保存活用を推進するとともに、岐阜県、静岡県、愛知県の所有者の会設立に向けた支援を行う。全国登文会フェスタ(6/23)、総会(6/24)に参加する。